

海洋・沿岸域政策懇談会（第1回）の概要

日時：平成19年6月6日（水）10時～12時

場所：国土交通省省議室

概要（各委員のプレゼンテーションの要点）

1. 河野委員

- ・ 国際海上輸送の安定性の確保（日本籍船の確保、日本人海員の確保、日本船社の国際競争力の確保）のための施策
- ・ 国際協力の促進（海洋環境保護、海上交通の安全確保）のための施策

2. 栗林委員

- ・ 排他的経済水域、大陸棚等に関する国内法制の整備
- ・ 海洋法秩序が多角的に進展する中で、日本の果たす役割が重要
- ・ 開発途上国に対する協力及びそれを通じた海洋秩序に関する共通認識の醸成

3. 杉山委員

- ・ 海洋は公共財であり、最適な活用には政府の役割が重要
- ・ 海洋基本法の6つの理念を国民が理解・実践できるような広報活動
- ・ 海洋基本計画策定における国民参加（パブリックインボルブメント）
- ・ 海洋・沿岸域に対する国民の意識の醸成（「海の日」の活用）
- ・ 海洋基本計画における各施策のタイムスケジュール及びアウトカム指標の導入
- ・ 省庁横断型の財源調達

4. 鈴木委員

- ・ 海上保安庁の体制強化が急務かつ不可欠
- ・ 離島の保全・振興が国境政策の観点からも重要
- ・ 国、地方公共団体、事業者及び国民の役割分担の明確化
- ・ 国益と国際協力の両立

5. 中俣委員

- ・ 海洋の保全・開発には離島の存在が重要であり、国民の関心の喚起が必要
- ・ 「海洋立国」の意味するところの明確化
- ・ 科学的知見の充実は本来的に「越境性」の問題をはらんでおり、国益・国境問題との調整が必要

6. 村田委員

- ・ 海上保安庁の体制充実
- ・ 海運政策の見直し（自国籍船の優遇、自国船員の養成・確保）
- ・ 海洋・沿岸域の環境保全、防災対策、漂着ゴミ対策の充実
- ・ 海事思想の普及
- ・ 港湾整備の推進